

# 小倉工業北辰会報

編集兼発行  
北九州市小倉北区  
白萩町 6 - 1  
福岡県立小倉工業高校  
北辰会事務局  
TEL 093(571)1124  
FAX 093(583)4924

## 平成二十五年度 北辰会総会開催される



め昨年度中に亡くなった方々にあらためて哀悼の意を表した後、次のとおり述べました。

「今年二月二十九日の北辰会入会式では卒業生百九十一名を会員として迎え入れた。北辰会会員も約二万二千名に達する」

「五月二日の創立百十四周年記念日では式典の後、例年通りOB講話を開催した。この講話は北辰会の会員が在校生の成長を願い、自分の経験や考えを語るものである。皆さんにもいろいろある。皆さんにもいろいろある。皆さんにもいろいろある。皆さんにもいろいろある。」

平成二十五年度小倉工業高等学校北辰会総会は、五月二十六日(日)に小倉飯店(北九州市小倉北区堺町)で開催されました。今年の当番幹事は平成二年と平成十四年の卒業生が務めました。

会長挨拶では森一政会長(昭和四十一年電気科卒)は、非常に長い間、北辰会の活動に尽力していただいた故・長野正景・前会長をはじめ

他の理由で、学校の名前が変わった、校歌が変わったという話を聞くことがある。そのようなことにならないよう、なんとか北辰会活動を活発にし、また学校を支援する活動を今後とも続けていかなければならない。そのためは皆さま方のご協力が欠かせない。今後ともご協力をお願いいたします。」

続いて山田晴隆校長の挨拶、そして石田浩一・PTA副会長(昭和五十九年電気科卒)による挨拶、それから下田豊一副会長(昭和五十年機械科卒)の部活動後援会長挨拶が、それぞれありました。

来賓紹介の後、平成二年卒当番幹事の恩師、都城俊彰氏が代表して祝辞を述べました。

永年勤続表彰(勤続十年)では、田中亮平先生、松永佳幸先生、木村美恵子先生に対し、感謝状と金一封が贈られました。

総会議案審議は、恒例により森会長が指名されて議長を務めました。

坂田智之事務局長(昭和三十六年機械科卒)から平成二十四年度事業報告および決算報告、そして平成二十五年度事業計画案および予算案の提案がありました。

前記の報告および提案について一括して審議を行い、総会の承認を得ました。

それから坂田事務局長より次の通り規約改正の提案がありました。

▽第3条「……生徒の体育向上を……」の語句を「……生徒の技能及び体育向上……」に改正。

▽第5条の4「体育後援会」の語句を「部活動後援会」に改正。

▽第15条「平成20年4月7日」の語句を「平成25年5月26日」に改正。

本提案は承認されました。今年度の役員は、前年度役員が引き続き務めることになっており、森会長が代表して挨拶をしました。

総会は、母校応援団指揮のもと、母校吹奏楽部の伴奏で校歌を斉唱し、竹川均副会長(昭和四十九年機械科卒)の閉会の辞で閉会しました。

## 北辰会懇親会報告

懇親会は、オープニングセレモニーとして、恒例の母校郷土芸能部による勇ましい祇園太鼓の演技が披露されました。

続いて南極越冬探検隊に参加した藤原淳氏(平成六年電子科卒・株式会社日立製作所入社)の講演がありました。

藤原氏は、二〇〇五年十一月から二〇〇七年三月の間、南極越冬観測隊に機械部門担当として従事していました。

現地で行われる各種観測およびその他の作業内容、基地の設備や基地周辺の状況、そして基地内での生活の様子など語っていただきました。

懇親会は、森北辰会長の挨拶、当番幹事長・出口誠氏(平成二年電気科卒)の挨拶があった後、福岡支部長・依克平氏(昭和三十六

## 部活動がんばろう会報告

北辰会部活動後援会主催の「部活動がんばろう会」が、平成二十五年七月三十日(火)午後六時から、JA会館富士見ホール(小倉南区富士見二一八)で開催されました。

今年のがんばろう会は、第一部「講演」、第二部「懇親会」の二部構成で行われました。

当日は、森一政会長・北辰会役員・同窓生・部活動Bら、そして山田晴隆校長・学校教職員・部活保護者ら、合わせて百名近い方が参加されました。



講師  
中島幸男氏  
(菅屋町教育委員会教育長)

### 講演会

「学校における部活動が果たす役割」  
「問われている部活動の在り方」

※部活動の在り方について  
部活動は子どもたちの夢や希望を実現させる一つの道である。

学校の部活動は、中学で三年間、高校で三年間と区切られている。その中で、仲間ができた、あるいは指導を受けることで精神的な強さとか、我慢することとかいろいろなことを学んでいる。

中学と高校とは、学校の指導者の体制や考え方に一貫性がなく、全てが変わっているの思いがある。

子どもたちによつては、すばらしい選手になる子もいれば、補欠で終わってしまう子もいる。補欠として終わった子の中にもすばらしい人間性が光っている。

レギュラーで出ていない子どもたちにもどう関わっていくか、レギュラーだけを大事にする学校は必ずといってよいほど問題を起していると思っている。

スポーツをやっている子どもたちには、チャンピオンを目指す子もいるだろうが、生涯にわたってスポーツを身に付け、スポーツを楽しむでいく人間をつくらなければならない。

※運動部活動の問題点  
日本高校野球連盟と朝日

新聞社が実施した全国の加盟校の指導者への実態調査で、県内の指導者は「体罰容認」の割合が全国値より高めであった。

体罰と厳しい指導との線引きは難しい。それなりの効果があるとの認識もあるが、今はそのような時代ではない。良い指導者とは何かを問われていると思う。

二、スポーツ事故  
運動部活中の死亡事故では、競技人口から死亡率を出すと、中学は柔道、高校は柔道とラグビーが突出している。死因は柔道が頭部外傷、ラグビーも頭部と首の外傷が目立っている。

問題とされるのは学校指導者の意識である。負傷者が出たとき、戦力低下を避けない傾向がある。また原因分析を行うにしても、情報が賠償請求に使われるという懸念からか、当事者が非協力的である。

指導者は事故や熱中症発生の対処についての研修が必要である。

三、勝利至上主義  
勝つことが指導者の評価につながる。本来教科指導が教員の仕事であるはずが、それが別のところで評価されることに問題がある。

勝つために部活動に力を入れることも大切だが、生徒の本人である学力向上にも気を配るべきである。

生徒には、ただ言われたとおりに行動するのではなく、自分で考えて行動する力を身につけさせるべきである。

四、教師の部活動に関わる時間  
教師が部活動に関わっている時間が長く、自分の家庭を犠牲にせざるを得ない状況にある。

五、保護者  
小さいときにスポーツを始めると、小学校に入るとスポーツを始めたいと比べて伸びているように見える。ただそれは他の子がやっていないからだけのことであり、親はそれを勘違いして自分の子どもの能力を過大に期待し過ぎている傾向がある。

金を出すが口も出さずタイプの親が非常に困る。特に野球とかバレーのような球技では、いろいろと口出しして、監督が何人もいるかのような有様である。

このようなことがチームの子どもの和を乱すことにもなっている。

部活動の下積みでがんばっている子どもたちの方が、将来良くなるのではないかと思っている。補欠になった子どもにもどのように対応するか、親の力量が問われる。

最近の話であるが、野球選手で体重が増えたらボールがよく飛ぶということ、必要以上に食事を取らせている例も出ています。

部費を集めている場合、その管理をきちんとしておかないと、業務引き継ぎ時にトラブルの原因となる。

(以下省略)



小倉工業高等学校同窓会  
北辰会部活動がんばろう会 懇親会

教育振興基金の報告

平成二十三年度には多くの皆様から協力をいただき、二百六十三万円の募金を賜りました。

この浄財で平成二十四年度の教育振興基金としての事業を行いました。

- 一、山田奨学会 一名
一、科学研究奨学会 五十万円
一、部活動の奨励 五十万円
一、国際研修事業 アメリカ・カナダに生徒一名 派遣 二十六万八千四百円

昨二十四年度に、五百十一名の同窓各位・団体よりご協力いただいた募金・寄付金は二百九十六万六千五百円でした。

この浄財は平成二十五年度の教育振興基金の活動にあてられます。
北辰会事務局へ直接現金を納入された寄付金は次の方々です(敬称略)

第二十回北辰会 オープンゴルフ大会



第二十回記念のオープンゴルフ大会は十月二十三日(水)、チェリーゴルフクラブ(京都府みやこ町勝山松田)で開催され、七十五名のメンバーが参加しました。



菅原裕明 副会長(昭和四十二年電子科卒) 山田晴隆 校長の挨拶があり、赤尾正洋 顧問(昭和八十五年機械科卒)の始球式でスタートしました。

和二十六年機械科卒)の始球式でスタートしました。和気満々の中、元気にプレーを楽しみました。

入賞者は次の通りです。(敬称略)

- 【男性の部】
優勝 石田哲雄(一般)
準優勝 石川克三(昭和41電)

- 【女性の部】
優勝 佐藤千代美(一般)
準優勝 白石瑞紀(一般)

平成24年度 北辰会決算書 及び 平成25年度 予算案

Table with columns for '費目' (Expense Item), '平成24年度' (FY2022), and '平成25年度' (FY2023). It details income from membership fees and expenses for various activities.

平成24年度 北辰会定期総会決算書 (平成元年・平成13年卒当番幹事)

Table showing the financial summary of the regular general meeting for FY2022, including total income and expenses.

平成24年度 教育振興基金 (一般会計) 決算書

Table detailing the financial results of the Education Promotion Fund (General Accounting) for FY2022.

平成24年度 教育振興基金 (特別会計) 決算書

Table detailing the financial results of the Education Promotion Fund (Special Accounting) for FY2022.

2013サマーフェスティバル開催報告

同窓会小倉北支部主催の「2013サマーフェスティバル」は、平成二十五年八月二十四日(土)午後六時半から、小倉飯店(小倉北区堺町一八一〜一四一)で開催されました。

参加者は、同窓会関係の方が三十七名、学校関係の方が六名、PTA関係の方が二名、合わせて四十五名でした。

まず、小屋敷憲治支部長(昭和四十一年工業化学科卒)が、挨拶で「昨夜からの雨の続きで足の悪い中、ご参加していただきありがとうございます」とお話ししました。

平成24年度にご逝去された方々

Table listing deceased members with columns for '旧職員' (Former Staff), '旧職員' (Former Staff), and '旧職員' (Former Staff), including names and dates of death.

ご逝去された方々のご冥福を心からお祈り申し上げます。(平成24年5月16日より平成25年5月15日までに連絡のあった方々)

年会費納入のお願い

会員の皆様にはいつも北辰会活動にご協力賜り厚く御礼申し上げます。非常に厳しい社会情勢の折、誠に恐縮ではございますが、北辰会の円滑な発展・活動の基本であります年会費を納入下さいますようお願い申し上げます。

- 昭15年機 原 勇
昭13年機 本田 隆資
昭9年機 新田 武雄
昭9年機 大曲 政則



# 学校だより

編集兼発行

福岡県立小倉工業高校  
北辰会事務局

北九州市小倉北区白萩町 6-1  
TEL 093(571)1124  
FAX 093(583)4924

## 『食教育』が行われています

今年の「食教育」は十月十三日から三日間、母校食堂で行われました。

学年別に、それぞれ生徒二百名および職員約二十名の全員が一堂に会して、食事が行われました。

食事は、リーダーの「合掌」の言葉に合わせて全員が合掌し、「いただきます」と唱和して始まります。

そして食事の終わりに、リーダーの「合掌」の言葉に合わせて全員が合掌し、「ごちそう



さまでした」と唱和します。

それから食会の準備などをしていただいた食堂のスタッフ、ご協力をいただいた保護者の人たちに感謝の意を表すというところで、リーダーの「起立」の言葉で全員が起立し、その方々に向かって「ありがとうございます」と唱和し、一礼します。

最後にテーブルごとに当番となった生徒がそれぞれ後片付けを行って、食事は終了します。

「食教育基本法」が平成十七年に制定され、毎月十九日は全国で「食育の日」とされました。

小倉工業でも平成二十年度から食教育が行われるようになりました。

- この食教育をおおして
- ・健康観の育成
- ・栄養のバランス

## 就職状況

・食事のマナー  
・コミュニケーション能力の育成

を図るとともに、健康で心豊かな正しい生徒の育成を目指しています。

また地産地消や食の安全についても、意識の向上を図っています。

平成二十三年度福岡県高等学校保健会生徒保健研究発表会において、母校生徒が「食教育をおおして〜自炊のすめ〜」と題して研究発表を行い、十一月八日北九州地区大会、十二月六日県大会ともに最優秀賞を受賞しました。

今年度、福岡県すべての県立高校の就職内定状況（教育委員会発表）は、九月末で四一・〇％、十月末で六八・三％の内定率と発表されました。全体（全職種）で見ると内定率は少し上向いている傾向がありますが、近隣の工業高校に問合わせると、またまた、工業関係の職種については厳しい状況が続いているようです。

## 吹奏楽部定期演奏会開催のご案内

第八回吹奏楽部定期演奏会が平成二十六年二月八日（土）、「北九州市ウエルとばた」（大ホール）にて開催されます。

部員も少なくはなりませんが、日頃の練習成果を存分に発揮することと思えます。皆さまには奮ってご鑑賞頂きますよう、お願い申し上げます。

開催にあたり北辰会の皆様を始め学校関係者各位には、部員（生徒ら）からの広告等の



### 小倉工業高校吹奏楽部 第8回定期演奏会

とき 平成26年2月8日(土)  
開場 13:00 開演 13:30  
ところ 北九州市ウエルとばた  
大ホール  
北九州市戸畑区汐井町1番6号

入場無料  
吹奏楽部OB会事務局  
福井一憲(昭50機)

支援依頼がありましたら、出費多端な折り誠に恐縮ではございますが、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

ているようです。その中で本校は、一次試験内定率が七七・三％、現在九八・八％で、昨年度とほぼ同様な内定率となっております。この結果は、同窓の皆様や各企業や各職場での活躍と本校への温かい御支援によるところが大きいと感謝して思います。さらには、先輩諸氏から引き継がれている倉工魂で、一人一人が高い意識を持って取り組んできた成果だと思えます。本校職員は、最

後の一人が合格するまで、職員でサポートしていきたいと思えます。

田中誠一(進路指導主事)

就職希望者	171名
内定者	169名
(県内91名 県外78名)	
	内定率 98.8%
公務員希望者	3名
内定者	2名
残り1名	二次試験待ち
進学希望者	24名
合計	198名
	12月5日現在

# 2013 体育大会 開催



平成二十五年年度体育大会は、平成二十五年十月六日(日)十二時から母校グラウンドで開催されました。

今年の大会のテーマは、「倉工の伝統〜未来へ繋ぐ我らの感動〜」でした。

このテーマを体現すべく、各クラスの生徒諸君はそれぞれ、心をつにしている工夫し、練習を重ね、トップ

を目指してがんばってきました。その成果を観客の皆さまに、十分披露できたと思えます。

今年も女子選手が、100m走りリレーなどで与えられた利点を有効に使って成績を上げていました。ハードル走では、女子選手のハードルの高さが飛び越える程でなかったものが、正規の高さの三分の二程に高くなっていました。

そして女子選手のスタートライン位置も男子選手の一歩目のハードルに合わせていました。

今年のPTA演技は、バランスポールを乗せる二本の棒が、ポールを外側から直接挟むことのできない幅に紐で規制されていました。また走る方法も直線コースをリレーで往復するのではなく、トラックを四分の一ずつリレーして周回することになっていました。なお、この競技の結果もそれぞれのクラスに加点されます。

集団行動は、各チームともそれぞれ見事な統率力と演技を見せてくれました。

終盤は「科・系別応援合戦」「科・系別対抗リレー」そして「倉工応援」で、場内が大変な

## 部活動

### 野球部

- ▲北九州市長杯争奪高校野球大会
  - 小倉工業10-0 真颯館
  - 小倉工業12-9 北筑
  - 小倉工業4-3 自由ヶ丘
  - 小倉工業6-0 慶成
  - 小倉工業7-5 九国大付
- 優勝

## 陸上部

- ▼福岡県陸上競技選手権大会 兼国体選考会
- 100m JH 1位 藤井琉成(電系一年)
- 400m H 1位 藤井琉成(電系一年)
- 最優秀選手 藤井琉成(電系一年)
- ▼福岡県新人陸上競技選手権大会
- 走幅跳 1位 黄梨快斗(電氣二年)

## 空手道部

- ▼北九州地区空手道選手権大会
- 《少年男子 形》
- 優勝 大庭裕之(電氣二年)
- 準優勝 古矢海渡(電系一年)
- 3位 遠山寛大(機系一年)
- ▼北九州空手道選手権大会
- 《無防具 形 個人戦》
- 優勝 大庭裕之(電氣二年)
- 準優勝 古矢海渡(電系一年)
- 3位 遠山寛大(機系一年)
- ▼福岡県空手道選手権大会北
- 部・筑豊ブロック予選会
- 《男子個人 形》
- 優勝 大庭裕之(電氣二年)
- ▼福岡県空手道新人大会北
- 部・筑豊ブロック予選
- 《男子団体 形》 2位
- 遠山寛大(機系一年) 萩尾光貴(機系一年)
- 太田光哉(電系一年) 古矢海渡(電系一年)
- 伊藤蓮(電氣二年)
- 《男子団体 組手》 優勝
- 谷口和希(電氣二年) 大庭裕之(電氣二年)
- 二階堂電史(電氣二年) 野中 樹(電氣二年)
- 坂本和輝(機系一年) 遠山寛大(機系一年)
- 太田光哉(電系一年)
- 《男子個人 形》
- 優勝 大庭裕之(電氣二年)
- 2位 古矢海渡(電系一年)
- 《男子個人 組手》
- 優勝 谷口和希(電氣二年)
- 2位 大庭裕之(電氣二年)
- 3位 二階堂電史(電氣二年)
- ▼第51回北九州市民体育祭空
- 手道大会
- 《高校生個人 組手》
- 優勝 大庭裕之(電氣二年)
- ▼福岡県空手道新人大会真大会
- 《男子団体 組手》 優勝
- 谷口和希(電氣二年) 大庭裕之(電氣二年)
- 二階堂電史(電氣二年) 野中 樹(電氣二年)
- 遠山寛大(機系一年) 太田光哉(電系一年)

## ものづくり

- ▼高校生ものづくりコンテスト 福岡県大会
- 《電子回路組立部門》 1位
- 佐々木裕哉(電子二年)
- 《化学分析部門》 2位
- 坂口彰梧(工化三年)
- 《電氣工事部門》 3位
- 上村亜未(電氣三年)
- ▼高校生ものづくりコンテスト 九州大会
- 《電子回路組立部門》 優秀賞(2位)
- 佐々木裕哉(電子二年)
- ▼全国ロボット競技大会
- 11月10日(日)(於名古屋)
- 143台中 79位

- ◇装飾
- \*最優秀賞 電氣系・電氣一組
- \*アイデア賞 電子機械系・機械一組
- \*努力賞 機械系・機械一組 電子系・電氣一組